令和6年度 学校評価（前期）について

標記のことについて、以下のとおり結果をまとめましたのでお知らせします。結果から、日々の教育活動の質を高めるために教職員一同で力を合わせて参ります。

つきましては、結果をご一読いただきますようお願いいたします。

【 】は前年度前期評価 ※評価は、4段階になっています。

1 確かな学力の定着 **生徒：3.5【3.4】 保護者：2.9【2.8】 教職員3.3【3.3】**

学校経営方針において最も重要な目標です。今年度は、研究テーマを「主体的に問題発見・解決に向かう生徒の育成」を目指し、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようICTの活用や教材研究、生徒一人一人に合った学習プリントの作成、授業改善に取り組んでいます。基礎学力を定着させるために、各教科において授業始めに小テストを行っています。また、学習の振り返りに力を入れています。

「授業では意見を述べたり、考えを発表したりすることがある」の質問では、生徒の自己評価は3.5【3.4】と昨年度の前期と比べて高い結果になっています。失敗から学ぶという学校の風土づくりに努めているところも良い結果となったと思われます。本校の課題である「自主学習」については、「家庭学習の仕方について先生からアドバイスを受けることがある」の質問では2.7と低い数値になりました。自分から課題を見つけたり、質問したりできるよう主体的に学習に取り組む生徒の育成に努めます。

2 豊かな心の育成 **生徒：3.5【3.3】 保護者：3.0【3.2】 教職員3.7【3.3】**

生徒の豊かな心を育成することは、学校教育目標の「思いやりと実践力の育成」を実現する重要な項目であり、あらゆる教育活動を通して、生徒の育成に努めています。

「先生は、いじめを許さない環境づくりに努めている」の質問では、生徒3.8【3.7】と昨年度前期から比較すると高い評価となりました。日々の授業や部活動等において「いじめは絶対に許されるものではない」こと、「仲間一人一人の命を大切にすることや人権感覚、人権意識を醸成すること」を確認し、日常生活での言動や、フォーサイト（生活日誌）、生活アンケート、教育相談等から生徒の状況を把握し、いじめの未然防止に取り組み、「いじめゼロ」を目指して取り組みます。お子様の様子について、気になることがありましたら学校へお知らせください。

「道徳の時間の内容について、家で話したことがある」について保護者の評価は2.1【2.6】でした。道徳は教科のひとつとなり、毎週1時間の授業をしています。学校だよりや学級通信等でも、生徒の学習内容や感想を、さらにわかりやすく発信するように努めますので、道徳の授業内容や学校の様子等でお知らせがあった場合は、家庭で話題の1つとなりますようお願いいたします。

「社会体験やボランティアの活動について」の質問では、夏休みの高齢者施設へのボランティア体験やペットボトルキャップ集め、地域の高齢者の方への手紙の配付等の活動を実施したことにより、生徒3.1【2.7】、保護者3.5【3.6】とボランティアに対する認識が高まりました。今後も、将来にわたって人の役に立つ（貢献）ことができる学習や体験活動を取り入れていきます。

学校教育目標にある「自立貢献」や、学習の中で力を入れている地域貢献の取り組みがプラスに変容したものと考えられますので、今後も地域の協力を仰ぎながら保護者のご理解をいただき主体的に人の役に立つことができる生徒の育成を目指します。

3 家庭との連携 **生徒：2.8【2.8】 保護者2.7【2.8】 教職員2.8【2.8】**

「進路や将来の生き方について、先生と相談することができる」の質問では、3年生の進路通信の配付や進路指導主事を中心に指導の積み重ねが見られます。今後も進路については、正確な情報を提供することに努めます。1・2年生では、職場体験や職業調べなどをおして自分の進路と向き合うことができるよう進路学習等を進めていきます。

「お子様は配付物を確実に渡しているか」の質問では、保護者2.6【2.9】でした。配付物を確実に渡していないことで、取りまとめができないこともありましたので、配付物が保護者に確実に届くようにするためにも、SNS（テトル）を利用して改善に努めます。

メディアの利用状況の質問では、生徒も保護者も一番低い評価になりました。学校と家庭が継続して連携を図ることと、家庭が当事者意識をもつ必要があります。朝ごはんプロジェクトでは、養護教諭、栄養教諭を中心に、規則正しい生活リズムを身に付けさせるよう取り組んでいます。また、食育においても、生徒の将来の健康維持、増進に向けて力を入れて取り組んでいます。

4 教育環境 **生徒：3.8【3.6】 保護者：3.5【3.7】 教職員：3.4【3.3】**

教育環境については、全体的に高い評価となりました。生徒たちの真面目な清掃活動、生徒会の推進委員会活動等によって、校舎が大変きれいになりました。学校用務員による環境整備、事務職員による学習環境の管理によって生徒が落ち着いて学習できる環境を整えています。雨漏りや空調等の整備については、市教委への要望を重ね早急に対応をいただいているところです。

学校内の掲示物については、生徒会推進委員会で季節やそれぞれの活動にあった情報発信ができています。また、毎月の活動で、ポスターを張り替えたり、目標等の掲示物を作成したりと工夫が見られます。見る人のことを考えた掲示物を作成することは大切なことです。教職員も工夫を凝らした掲示物を作成し、生徒のための情操教育を視野においた環境を整えていきます。

5 教職員の指導 **生徒：3.7【3.7】 保護者3.3【3.6】 教職員：3.5【3.4】 学校運営**

教職員の指導については、PTA活動や地域の活動への参加等、地域の一人としての活動に協力することは非常に重要なことだと認識しています。教師自ら、地域の活動に積極的に参加するよう努めます。

「先生は厳しい指導と共に、生徒を認め、ほめることを行っている」「先生は生徒に積極的に関わり、心の触れ合いを大切にしている」の質問では大変高い評価となりました。丁寧な指導はもちろんです。生徒を鍛えていくためにも家庭と学校が連携して、将来を担う生徒の育成を目指し、更なるご家庭の力強い協力をお願いします。2学期の始業式では、生徒たちに「がまんする」ことの必要性を話しています。あらゆる教育活動において「前向きにねばり強く」、韌やかな竹のごとく柔軟な心の育成に努めてまいりますので、保護者の皆様のご協力をお願いします。

大島中の生徒たちが何事にも主体的に取り組むことができるよう、教職員一丸となり、「オール大島」で大切な宝（子どもたち）を磨いていきます。